

# 第47回Radiotherapy Moonshot共催 重粒子線医理工セミナー

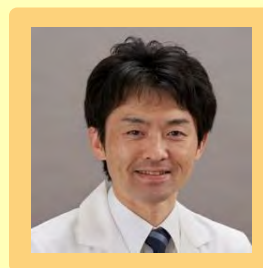
日時：令和5年3月15日（水）17:00～18:00

場所：GHMCカンファレンス室

参加費  
無料

## ● 講演／講師 平田秀成先生

（国立がん研究センター東病院、医員）



## ● 講演タイトル

放射線治療における臨床試料の遺伝子解析研究の課題と展望

## ● 講演内容

がんは私たちの体を形作る細胞のたった1個に、さまざまな遺伝子異常を蓄積しながら生じ、進展する「ゲノムの病気」である。がん診療・研究における臨床試料を用いたゲノム解析・遺伝子解析の重要性は論を俟たないが、放射線治療においても徐々にその有用性が認識されつつある。

本講演では演者が携わってきた臨床試料を用いた遺伝子解析研究の実例を示すとともに、演者が考える現状の課題、今後の展望について述べる。粒子線治療を含む物理的進歩が著しい放射線治療において、生物学的な研究手法を併用することで、放射線治療のさらなる発展につながる事が期待される。



GHMC お問い合わせ

群馬大学重粒子線医学研究センター 猪爪 [inoino@gunma-u.ac.jp](mailto:inoino@gunma-u.ac.jp)  
〒371-8511前橋市昭和町3-39-22 ☎027-220-8378